地域文化財総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	愛知県犬山市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	犬山市文化遺産総合活	用活性化事業	【計画の改善時期】
4 実施計画期間	平成 29 年度	~ 平成 33	年度

5 実施計画の概要

犬山市全市博物館構想(平成14年策定)や歴史的風致維持向上計画(平成21年策定)を踏まえ、犬山市に固有の文化遺産を活用した地域活性化や地元に根付く伝統文化の継承・発展を図るため以下の事業を実施する。また、計画期間中、以下の事業を通じて、行政とNPO法人をはじめとする民間団体、文化財保護団体及び地域住民による文化財保護・活用のための連携・協力体制の確立を目指す。

6 実施体制

本事業実施計画に係る全体の企画・調整や各補助事業に係る指導等は以下の担当課が行う。

主な担当課:役割

教育委員会 歴史まちづくり課:文化財の取扱等に関する指導等

また、事業は次の団体が実施する。

大山文化遺産活用実行委員会(委員長:中村浩三) 構成団体(大山市教育委員会、大山伝統音楽研究会)

7 実施計画における目標と期待される効果

別紙①のとおり

8 補助事業の概要 (1) 補助金額 ~平成30年度交付決定額: 58,542 千円 平成31年度申請額: 838 千円

(2) 実施事業の概要 別紙②のとおり

9 その他計画実施により想定される効果 (定性的な効果を記載)

文化遺産に対する取組を市内全域に広げ、各地域住民の文化遺産に対する関心や意識を向上し、市民主導、文化遺産愛好家主導による文化遺産の保存や伝承、活性化につなげることが可能である。また、行政やNPO、市民団体、文化財保護団体とが連携、協力体制を構築することで、各地域だけでなく、市全域に取組みを広げることが可能である。また、この取組を進めることにより、多くの観光客が訪れる犬山の更なる魅力向上が図られ、観光客の増加を見込むことができる。

10 その他事業(自主財源,民間団体,他省庁等からの補助(支援)を予定している事業など)

事業概要: 特に無し

事業概要: 特に無し

事業概要: 特に無し

11「文化財保存活用地域計画」の作成・認定や「文化財保存活用大綱」の策定、「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等

犬山市歴史的風致維持向上計画 平成21年3月11日策定済み。文化財保存活用地域計画については、本事業により、これまで実施してきた悉皆調査等の成果を反映し、策定について検討を進める。

12 担当部局

地方公共団体 担当部局課 大山市教育委員会 歴史まちづくり課

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分1:	地域の文化資源を消	地域の文化資源を活用した集客・交流						
評価指標区分1:	地域の文化遺産への	也域の文化遺産への来場者数 (具体的な指標は次のとおり)						
具体的な指標1:	市内文化財関連旅	西設の入館者数		関連事業:	1	5		
目標値1:	【現状値】 平成 2	9 年度 970,393	名 ⇒ 【目標	値】 平成 3	33 年度 1,	000,000 名		
設定根拠1:	平成29年度の市所	「管文化財施設への	入館者数の伸び	率約1.02倍を	を参考とする	5.		
進捗状況1:		各年度,	状況値、目標に対す	よう とうしゅう とうしゅ とうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅう しゅう				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33	年度 平成	34 年度		
976, 322 名	971,569 名	名	名		名	名		
20%	4%							
目標区分2:	目標区分2: 地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化							
評価指標区分2:	地域の文化遺産を活	舌用した取組数(本	事業の取組を除く)	(具体的	的な指標は炎	次のとおり)		
具体的な指標2:	地域主体の文化遺	量産普及啓発事業(イベント数)	関連事業:	234560	D		
目標値2:	【現状値】 平成 2	8 年度 10	□ ⇒ 【目標	値】 平成 3	33 年度	20 回		
設定根拠2:	地域主体の文化遺産普及啓発事業(イベント数)の実施件数							
進捗状況2: 各年度、状況値、目標に対する達成率								
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33	年度 平成	34 年度		
13 回	15 回	口	口		旦	□		
30%	50%							

8(2)実施事業の概要 別紙

													(4) 天爪	5 T AC	7 170 🔿	刀打机
事業①:	犬山市	方文化遺産情報発信業務 実施団体 : 大山市文化遺産活用実行委員会														
事業	区分:	情報発	信					事	業期間]:	平成	29	年度 ~	~ 平成	; 33	年度
事業	概要:	市内の文化遺産を巡るコンテンツ「犬山たび」について既存コンテンツの多言語化を図り、日本の文化に 触れてもらう。														
評価指標	区分:	・アプ	リ等の)ダウ:	ンロー	ド数						(具体的な	:指標は	次のと	おり)
具体的な	指標:	アプリ	のダ	ウンロ	ュード数	汝						•				
目	標値:	【現状値	1 平	成 2	28 年	度	600	PV	⇒	【目标	漂値】	平成	33	年度	4,000	PV
進捗	状況:					各	·年度,	状況値	,目標	に対	する	達成率	<u> </u>			
平成 29	年度	平成	30	年度	平成	31	年度	平成	32	年度	王 平	成	33 年度	平成	34	年度
3, 138	PV	3, 7	92	PV			PV			PV			PV			PV
75%			94%													
事業②:	祭囃	子活性化	化事業	美 (演	奏会)			実	施団体	S : 7	大山下	市文化	2遺産活力	用実行	委員会	
事業	区分:	普及啓	発					事	業期間]:	平成	29	年度 ~	~ 平成	33	年度
事業	概要:	横笛に	よる名	冷囃子 7	が演奏さ	される	。囃子	で使わ	れる横	笛の	うち	「能管	車山の選 予」「篠留 賽奏会をま	訂」に着	計目し、	
評価指標	区分:	・保存会への新規入会者数 (具体的な指標は次のとおり)														
目	標値:	【現状値	車】 平	成 2	28 年	度	0	名	⇒	【目标	漂値】	平成	33	年度	100	名
進捗	状況:					各	·年度,	状況值	,目標	に対	する	達成率	<u> </u>			
平成 29	年度	平成	30	年度	平成	31	年度	平成	32	年度	王 平	成	33 年度	平成	34	年度
20	名			名			名			名			名			名
20%			47	F to L I S		a lul										
事業③:	いぬそ ぶ」	アま歴史	物語	地域	災害と	その教	対訓を学	実	施団体	S : 7	大山 7		2遺産活力	用実行	委員会	
事業	区分:	普及啓	発					事	業期間]:	平成	29	年度 ~	~ 平成	33	年度
事業	概要:	る。伝	承を当	学び、野		学習す	る「災	害歴史	遺産」	体験	ワー	クショ	こんな化を ロップの実 レディスス	ミ施、 紙	(芝居・	寸劇
評価指標	区分:	・その	他									(具体的な	指標は	次のと	おり)
具体的な指標: イベント実施による歴史ファン及び事業への累計賛同者数																
目	標値:	【現状値	1 平	成 2	29 年	度	200	名	⇒	【目标	漂値】	平成	33	年度	600	名
進捗状況: 各年度、状況値、目標に対する達成率																
平成 29	年度	平成	30	年度	平成	31	年度	平成	32	年度	王 平	成	33 年度	王 平成	34	年度
327	名			名			名			名			名			名
32%																

事業④ : 祭囃子	· 活性化事業(講習:	会)	実施団体:	犬山市文化遺産活用	実行委員会				
事業区分:	後継者養成		事業期間:	平成 29 年度 ~	平成 33 年度				
事業概要:	横笛による祭囃子	・人口宗の単山行事」は下二輌の単山と二つの練り物で構成され、単山の運行に所せて太坂や 関笛による祭囃子が演奏される。囃子で使われる横笛のうち「能管」「篠笛」に着目し、祭囃 その伝承と活性化を図るため、横笛の仕組みや歴史、奏法の基礎を学習する講習会を実施す							
評価指標区分:	・保存会会員数の	変化 (維持)		(具体的な打	指標は次のとおり)				
具体的な指標:	事業実施による祭	その新たな担い手数	(保存会)	<u>, </u>					
目標値:	【現状値】 平成 2	29 年度 0	名 ⇒ 【目	標値】 平成 33 年	度 30 名				
進捗状況:		各年度,状	況値、目標に対	対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年	度 平成 33 年度	平成 34 年度				
0 名	名	名	名	名	名				
0%									
事業 ⑤: 文化:	貴産情報発信業務		実施団体:	犬山市文化遺産活用	実行委員会				
事業区分:	情報発信		事業期間:	平成 30 年度 ~	平成 30 年度				
事業概要:	過去に実施した悉皆調査により明らかになった市内の文化遺産をビジュアルや動画、説明等で紹介する ホームページの新規作成を実施する。また、市内の文化遺産を『合戦場』『街道』『各地の祭』等の各 ジャンルに特化した市内全域を巡るパンフレットを作成する。								
評価指標区分:	・ホームページ閲覧数 (PV数) (具体的な指標は次のとおり)								
 具体的な指標:	: ホームページの総アクセス数								
目標値:	【現状値】 平成 2	29 年度 0	PV ⇒ [E	標値】 平成 33 年	度 10,000 PV				
進捗状況:		各年度,状	況値、目標に対	対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年	度 平成 33 年度	平成 34 年度				
PV	703 PV	PV	P'	V PV	PV				
	7%								
事業⑥: 長唄	「四季の犬山」演	奏 会	実施団体:	犬山市文化遺産活用	実行委員会				
事業区分:	普及啓発		事業期間:	平成 31 年度 ~	平成 33 年度				
事業概要:	要: 明治から昭和にかけて犬山の街で発展した長唄のうち、昭和初期に犬山を題材として作成された「四季の犬山」を復元し、広く周知する演奏会を実施する。								
評価指標区分:	3分: ・保存会への新規入会者数 (具体的な指標は次のとおり)								
具体的な指標 : 市内関連団体の新規入会者数の増加									
目標値:	【現状値】 平成 3	31 年度 10	(単位) ⇒ 【目	標値】 平成 33 年	E度 30 (単位)				
進捗状況: 各年度、状況値、目標に対する達成率									
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年	度 平成 33 年度	平成 34 年度				
(単位)	(単位)	(単位)	(単	位) (単位)	(単位)				

事業⑦: 長唄	「四季の犬山」復元事業 実施団体: 大山市文化遺産活用実行委員会						
事業区分:	普及啓発 事業期間: 平成 31 年度 ~ 平成 33 年度						
事業概要: 明治から昭和初期にかけて犬山の街で発展した長唄のうち、昭和初期に犬山を題材として作成された「四季の犬山」を復元(譜面化、映像化) し、伝承を図る。							
評価指標区分:	・保存会への新規入会者数 (具体的な指標は次のとおり)						
具体的な指標:	具体的な指標:市内関連団体の新規入会者数の増加						
目標値:	【現状値】 平成 30 年度 0 名 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 20 名						
進捗状況:	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成 29 年度	平成 30 年度 平成 31 年度 平成 32 年度 平成 33 年度 平成 34 年度						
名	名 名 名 名 名						